看護部長受章挨拶

2020年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振りい翻弄された年でした。いまだ終息の兆しが見えない中、感染防止対策に日々不断の努力を重ねています。

ポストコロナで、病院理念である“心の通う温もりのある医療をめざす”には、どう行動すべきかをよく考え、今後、より患者様に寄り添い、患者様・家族様に安心と信頼を得ることができるように個々が責任を持って看護・介護に努力して参ります。

2021年は丑年、「我慢」「これから発展する前触れ(芽が出る)」という年になるといわれています。その牛が干支であり縁起の良い年になることを期待したいと思います。

さて、私ごとですが、令和2年秋の叙勲に際しはからずも瑞宝双光章受章の栄に浴しました。コロナ禍で皇居での拝謁は叶いませんでしたが、奈良県知事より勲記・勲章の伝達を受けました。

このことは、多くの皆様の支えと心温かいご指導をいただいた諸先輩の方々のお蔭だと深く感謝致しております。今後は、この榮譽に恥じることはないように、微力ながらお役に立てるように精進して参りたいと思います。

奈良県立高等養護学校より職場実習

奈良県立高等養護学校より3年生の学生さんが、令和2年11月30日～12月11までの9日間、3階病棟で実習をされました。当院では3回目の実習になります。

入院患者様のおむつ交換時に使用する必要物品のセット組みやおしぼりタオル巻き、Yカットガーゼなど、衛生材料の作成などの作業をしました。実習3回目ということもあって、大変スムーズに行うことができました。作業は丁寧に根気よくされ、すぐに慣れることができ、大変助かりました。作成したものは各部署へ元気よく笑顔で挨拶しながら配布し、実習を終えることができました。ますます活動の幅が広がることを期待しています。

臨床検査科 新規免疫分析装置を導入

令和3年2月より新しく、自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed(アキュラシード)が稼働しました。

本分析装置は血液中のホルモンや癌の検査を10分で測定することができ、生化学検査と同時に結果報告が可能となり、待ち時間が軽減されました。

当院では先ず、前立腺癌の診断・経過に用いるPSA(前立腺特異抗原)という血液検査を院内に導入し、診療前検査に役立てています。

その他にも、感染症項目や癌、ホルモン、心臓、高血圧、甲状腺などの多種多様なラインナップを測定できる装置ですので、これからさらに臨床のニーズに合わせて分析できる環境を整えて、患者様に貢献できるよう努力してまいります。

『職場紹介』～介護支援センターのご紹介～

現在1名のケアマネージャーが、地域の高齢者の皆様を担当させていただいております。介護認定を受けた方が、介護保険を使い自宅で暮らし続けるていくために支援する役割は重要だと考えております。

介護保険の認定をお持ちの方に自宅での生活で困っていることをお伺いし、どのようにしていくと良いのかを一緒に考え、ご希望される必要な支援を介護保険の規定に沿って支援させていただきます。

*「業務内容」は、

- ・介護相談 ・介護保険の説明 ・介護認定の申請手続きの代行 ・居宅サービス計画書の作成
- ・居宅サービス事業所(ヘルパー事業所やデイサービス事業所、訪問看護事業所やレンタル事業所等)との連絡や調整など

**例えば、「安全に移動ができるよう手摺をレンタルしたい」や「ひとり暮らしで料理や買い物に困っているので、ヘルパーさんに来てほしい」、「熱が出やすいので看護師さんに定期的に訪問してほしい」など、いろいろな問題を一緒に考えて解決できるようにし、住み慣れた自宅での生活を安心して続けていただくことを目標にしています。

まだ介護保険申請をされていない方でも何か気になることがあれば、当センターまでお気軽におたずね下さい。

緑の力でPOWER UP!!

ほうれん草のチーズケーキ風

難易度 ★☆☆☆

ほうれん草に含まれる鉄は、豆腐のたんぱく質やレモンのビタミンCと一緒に摂ることで吸収率が高まり、貧血予防が期待できます。

さらに、造血作用のある葉酸が豊富に含まれるため、体が冷えて血流が悪くなりやすい冬に取り入れたい食材です。

材料(2人分)

絹ごし豆腐	20g
ほうれん草	30g
クリームチーズ	30g
卵	20g(1/3個)
A はちみつ	7g
レモン汁	2g
ホットケーキミックス	10g
レモン	5g

《作り方》

- ① 絹ごし豆腐は、ザルに入れ水気を切る。(目安30分)
- ② ほうれん草はみじん切りにする。(飾り用に1g取り分けておく。)
- ③ ボウルに①と②を混ぜ合わせ、Aを順番に加えよく混ぜる。
- ④ 器に③を流し込み、ふんわりとラップをかけ、レンジで500W2分加熱する。
- ⑤ ④に②で残しておいたほうれん草とレモンを飾り500W30秒加熱する。
- ⑥ 粗熱を取り、冷蔵庫で2時間以上冷やす。

※ほうれん草は葉の色が濃く、肉厚でハリがあるものを選びましょう。

『看護部だより①』 院内研修会～窒息者の対応について～

10月29日(木)、1階リハビリ室にて、「窒息者の対応について」の研修を行いました。看護師は事前勉強としてミニトラックについて研修動画を見て参加しました。

設定は①車いすで自己摂取しているとき②ベッドで食事介助中としました。医師・看護師・補助者・患者役を決め、和田院長、法田内科部長をはじめ看護副部長、師長、副師長が中心となって演習を行いました。苦悶表情で眼球が徐々に上転している患者さんを発見したとき、始めに何をすべきか、自分の役割は何かが大変よくわかる研修になったのではないかと思います。

『看護部だより②』 院内講習会～今からできる摂食・嚥下ケア～

12月16日、南奈良総合医療センターより摂食嚥下認定看護師の佐谷直美(さたに・なおみ)様を講師にお招きし、「今からできる摂食・嚥下ケア」というテーマで講義をしていただきました。

誤嚥性肺炎についての予防策や口腔ケア、食事介助時のポジショニングなどさまざまな内容を取り込んだ講義をしていただきました。参加者は皆、真剣な表情で講義を聴き入っており、非常に良い学びになったと思います。今後の業務に活用したいという意見も多数聞かれ、大変有意義な研修となりました。

感染対策委員会の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症が発生し早くも1年が経過しましたが、未だ終息に至らず、2回目の春を迎えるようとしています。TVを付ければ「PCR・エアロゾル」などのような言葉を良く耳にするようになりましたが、これらは主に感染症領域での医療用語として多く使われてきました。しかし、今や一般的な言葉となりつつあります。自粛に追われる世の中が荒んでいくようで、本当にこの度の新型ワクチンが功を奏してくれるよう祈るばかりです。

当院といたしましても患者様、特に高齢者様をお預かりする身ですので、職員や家族様の面会からの感染が起らないよう、職員には健康管理や定期的なPCR検査で状態の把握に努めています。また家族様にはリモート面会という形で水際対策にご協力頂き、双方に淋しい思いをさせており、ご迷惑をお掛けしている所でもあります。

さて、言葉の通り感染対策委員会とは院内感染等の発生を未然に防止すること、ひとたび発生した院内感染等が拡大しないように迅速かつ機動的に制圧、終息を図るため、院内感染対策委員会を設置し、この委員会が中心となって、全職員に対して組織的な対応と教育・啓発活動を行っており、まさにこの度の新型コロナウイルス対策に全力を注いでおります。

2月には当院にもPCR検査装置がようやく導入になり、その日のうちに約75分でコロナウイルスを検出し、感染対策の強化を図れるようになりました。

未曾有の災禍とはいえ、こんな時こそ地域で一致団結して助け合い、この難局に立ち向かって、地域の皆様が安心して治療に専念できる医療環境を提供できるよう、諦めずに努力していきたいと思っております。

仕事納め式

12月29日、1階リハビリ室にて仕事納め式が行われました。和田院長から職員へ、5年・10年・15年永年勤続表彰、病院貢献への特別表彰、ホスピタル川柳コンテストの表彰が執り行われました。

職員作品(干支)の紹介

当院の西口看護師が、今年の干支にちなんだ作品をペーパークラフトで作成していただきました。
『今年は丑(うし)年 コロナウィルスはモーそろそろ退散してもらえませんか』とユニークなコメントを頂きました。

2020 なんわホスピタル川柳コンテスト

- ★ 優秀賞 コロナ禍で 周りはみんな マスク美人
- ◎ 2位佳作 Web面会 寡黙な人も しゃべりだす
- 3位佳作 患者より 振り回されてる 電カルに

*2020年度ホスピタル川柳に掲載された作品を対象に投票を行った結果、左記3作品が表彰されました。おめでとうございます。

◆ グループリハ 写真館 ◆

南和病院

医療法人 弘仁会

住所 〒638-0833 奈良県吉野郡大淀町大字福神1-181
電話番号 0747-54-5800 FAX番号 0747-54-5700
ホームページアドレス <http://www.koujin.jp/>

施設概要

- ・長期療養病床:96床
- ・急性期一般病床:42床
- ・院内デイサービスセンター
- ・介護支援センター相談サポート

診療科目

内科・外科・整形外科・肛門外科・脳神経外科・人工透析内科
泌尿器科・リハビリテーション科(理学療法・言語聴覚療法)

診療時間

午前9:00～午前11:30 休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始

*近鉄吉野線 福神駅より徒歩約5分、医療センター斜め向かい

南和病院 基本理念

- ・患者様の人格を尊重し、心の通うぬくもりのある医療を目指します。
- ・医療人として、常に良質の医療を提供できるよう自己研鑽に努めます。
- ・患者様が安心して治療に専念できる医療環境を提供します。

編集者:なんわ通信・HP編集委員会